

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する

ROE
10%超営業利益
400億円当期純利益
300億円自己資本
3,000億円程度

② 中長期の経営戦略

1. グローバル展開

日本・米州・欧州・アジアの4極において需要地における販製一体体制を構築。中国など新興国での販売網拡充と生産体制強化を推進

2. 新規分野への展開

医療機器、航空機、サービスロボット、免震・制震装置、再生可能エネルギー関連など消費財・リスク低減分野への製品採用を拡大

3. ビジネススタイル変革

AI、IoT、ロボットなどテクノロジーを販売、生産、開発で徹底活用し、ビジネスの進め方と仕組みを変革

4. ものづくりサービス業展開

製品提供にAI・IoTなどデジタル技術を活用した付加価値高いサービスも提供。マシンユーザーも対象にFAソリューション強化

③ 対処すべき課題

① 収益性向上

- ・ ROEが低迷し株主期待に未対応の状況からの脱却
- ・ 売上増加に依存せず自助努力で筋肉質な高収益構造へ変革
- ・ 構造改革期間は2026年度までの2年間

② 経営環境への対応

- ・ 地政学リスク、インフレ、米国関税政策など先行き不透明感に対応
- ・ 半導体関連・自動化・ロボット化・環境対応車シフトの需要取込

③ ガバナンス・サステナビリティ強化

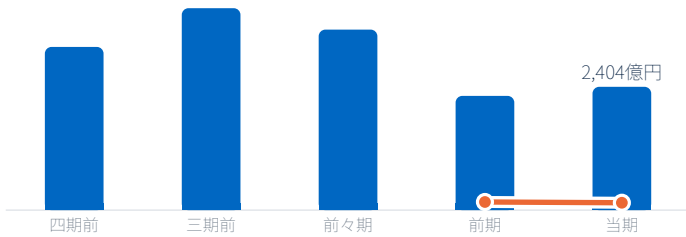
- ・ PDCAサイクル回すモニタリング体制強化
- ・ 取締役会構成見直しと第三者による実効性評価実施
- ・ 環境などサステナビリティ施策の強化

面接で使えるポイント

- ・ LMガイド開発以来、世界トップメーカーとして自動車・医療機器・航空機など多様な分野で製品採用が広がっている
- ・ 2027～29年度早期にROE10%超実現、輸送機器事業譲渡など経営方針を根本的に転換する強い決意を示している
- ・ AIやIoTなどデジタルテクノロジーを徹底活用し、ものづくりサービス業へ事業領域を拡大する革新性

証券コード 6481

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,404億円営業利益率
6.0%財務健康度
41点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 56.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
648万円

機械内 138位/208社

平均年齢
41.5歳

機械内 136位/209社

平均勤続
19.2年

機械内 28位/209社

女性管理職
2.3%

機械内 130位/168社

男性育休
68.5%

機械内 121位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 株式特例報告 T H K (5.09%→ 6.49%)野村證券など

